

桜井辰雄先生選評



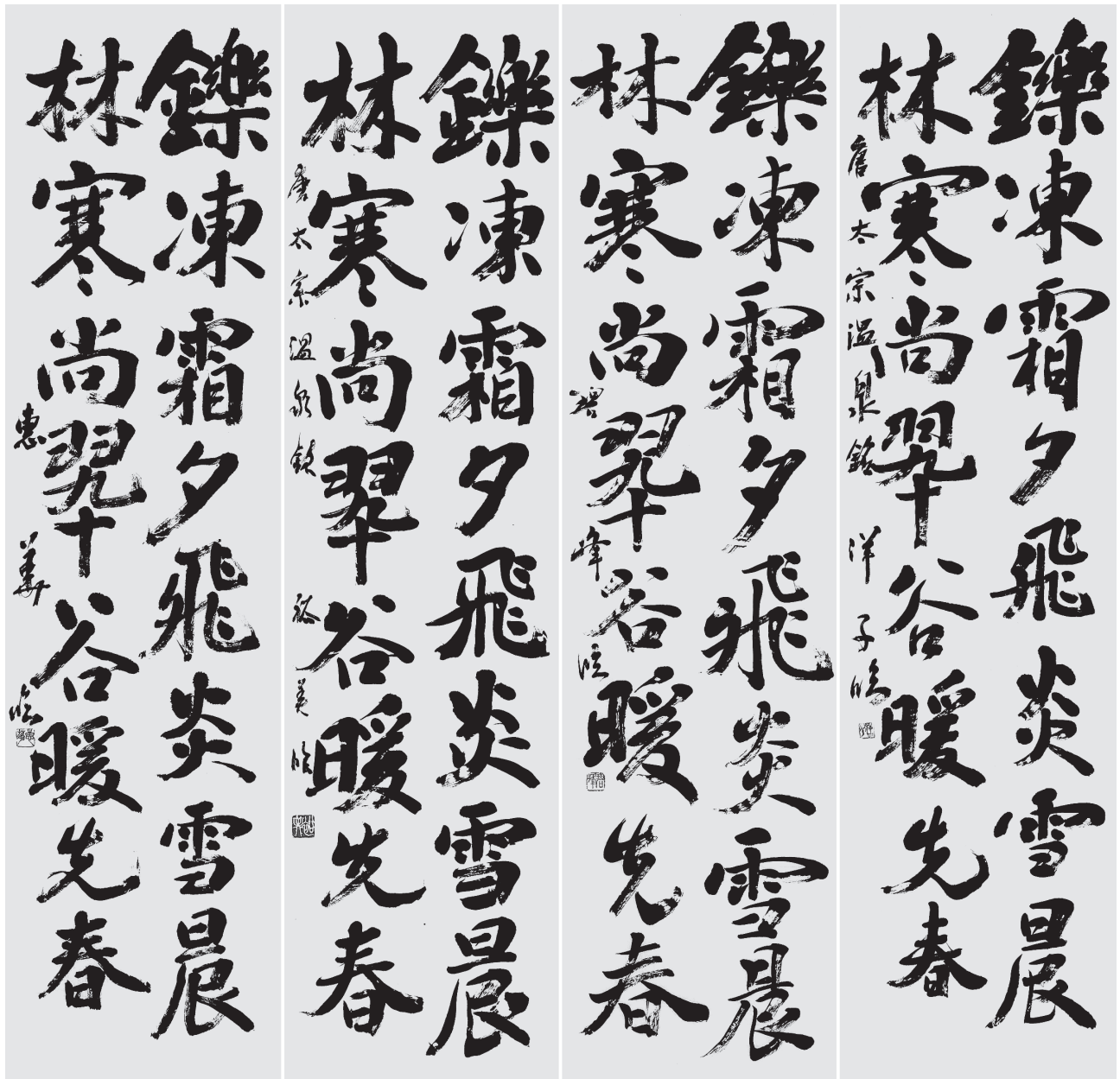
中野智美 推選
潤渇や線質の強弱に遅速の変化も加わり、相乗効果として作品を押し上げている。小ぶりの中央部の漢字とひらがなの変化とともに脚部に軽さがあればとも思う。

鈴木修竹 推選
グイグイと適厚な運筆が腹に響いてくる。扱い慣れた筆や墨の濃度の為せる業か。整い過ぎの感も否めず。力量ある故、新しい用具や法帖への冒険は如何か。

星野満也 推選
書き終えて思わず笑みがこぼれるほどの楽しく躍動的な作。遅速と強弱を加えて、浮きかけた線質を落ち着かせる技量の豊かさも伺える。

小松崎 楓景 推選
前三作と異なり紙背に振し込んで抉るような筆遣いの一方で、軽やかに滑らせる妙味をも併せ持っている。題名にも雅号ほどの伸びやかな変化を求めたい。

武良霜伯先生選評



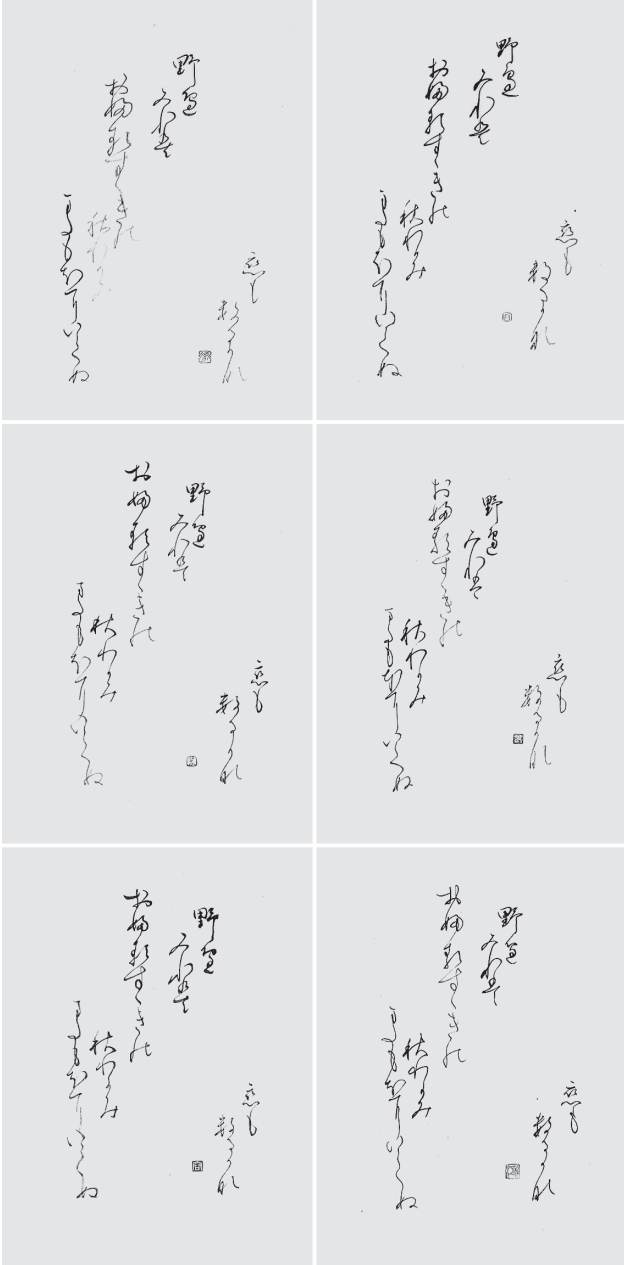
西本洋子 推選
 羊毫に墨量を載せて、どつしりと書作している。一字一字の形体にも安定感があり、一点一画しっかり足を地に踏まえ、紙背に筆力がよく通っている。快作です。

藤井碧峰 推選
 原本を真剣に観察され字んでいるところに好感が持てます。太宗皇帝の凜とした表情を、伸び伸びと渴筆を交えながら、落款まで通貫して流石です。

江戸裕美 推選
 濃墨羊毫を上手く遣い、骨格の確かな味わい深い線質は、日頃の鍛練の賜と。今後この調子で研鑽を重ね、更なる飛躍を期待しております。

中嶋恵華 推選
 筆庄の変化に優れ、潤渴を自然に表現している。素直で温かく、殊更に技巧をみせてはいないが、豊かな情緒を感じ、品格のある清々しい作品です。

久保田淳子先生選評



花上サト代 準八
よく穂先を柔らかく動かして古筆の雰囲気をつまみ出した。渴筆になり過ぎた部分に墨つきをしても作品のポイントになったと思う。

井出翠風 準七
原帖に忠実に、墨量の案配もよく書かれた。やや中央の行間が広く全体のまとまりに欠けて残念です。後半は力まず行も自然に流れて美しい。

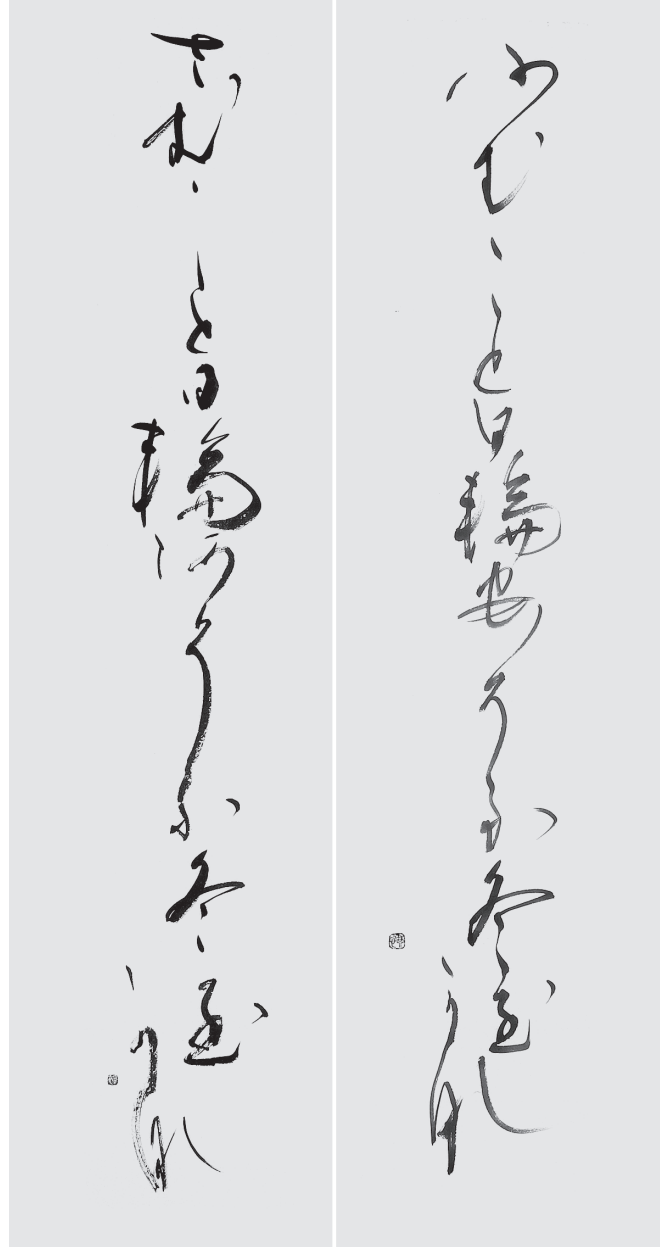
丸山容子 六段
やや水っぽい墨色の為か重い運筆になったが丁寧につきり仕上がって居る。リズムの変化で伸縮がくっきりと一層良い作品に仕上がるでしょう。

佐藤朋子 師範
練れたしっかりした運筆。ちらしのバランスもよいですが、やや墨量が多いので渴筆を生かし、深みと明るさが加わると引き締まる。

戸井春子 準師
潤渴程よく文字の配置も考慮して佳作。優雅な行の流れが、ちらしの半紙作品としてやや小さめの文字を巧みにまとめあげて居る。

栗林和江 八段
筆の穂先が自由に動き、連続線が美しい。終句の墨量を減じて、雅印が目立つので、出来れば少し小さい方がバランスよいと思う。

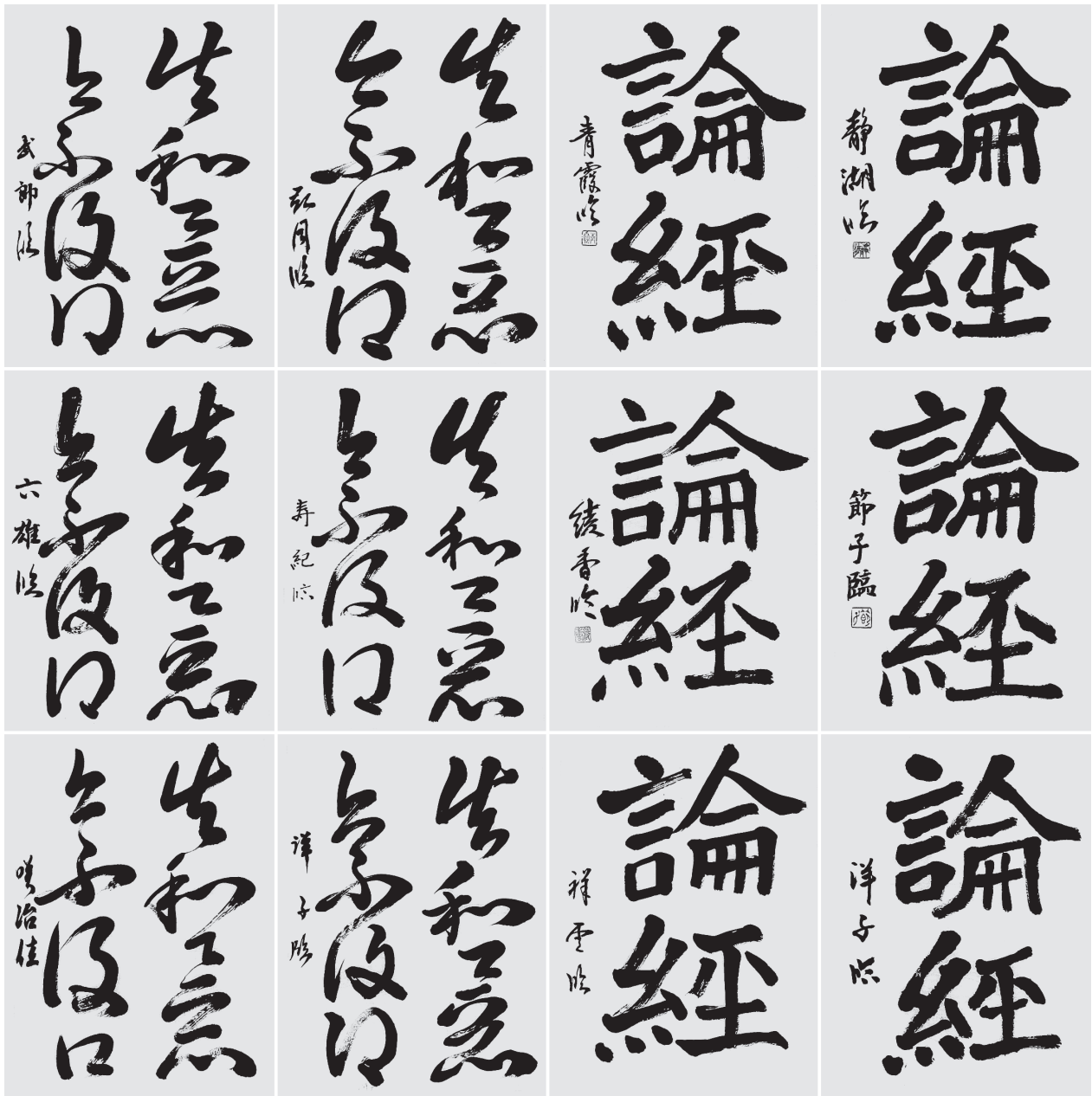
白幡陽子先生選評



本多春媛 推選
墨量・文字の大小・疎密・振幅に配慮が見え心地よく纏め上げた作。前半硬さが見えますが、終句の瀟洒な筆さばきは絶妙です。穏やかで温かい情景が広がる。

小柳琴心 推選
ゆるぎない暢達の線条しなやかで、文字遣い・運腕の大きさに錬度の深さを感じる。淡墨の美しい移ろい凛とした線質見事。優しく温もりの中に芯の強さを感じる快作。

加藤有鄰先生選評



赤石静湖 師範
悠然と確実に運筆されておられ、重厚で味わいある線質を用いて、鄭道昭の特徴を見事に捉え表現しています。

小栗節子 師範
伸びやかで重厚な筆致である。威風堂々としており、潤濁が美しい。適度な緊張感が作品全体を引き締めている。

荒井洋子 三段
確実に丁寧な運筆され、深く豊かな線質をもって構成されている。原帖をよく観察しており、形体も安定している。

古村青霞 準三
適度なスピードをもって、筆の穂先が確実に中心を通っており、伸びやかで強い表現を見せています。形体も豊かである。

安宅綾香 準三
落筆高く線が円く温かい。真面目な臨書への取り組みが窺われます。全体の墨量が少なかつたことが残念です。

菊地祥雪 準初
手首の返しが自然で俯仰の法を得ており、柔らかな温かみで伸びやかに運筆されています。堂々とした臨書姿勢にも感服します。

鳥居弘月 準師
落筆が高く、遠勢が効いており、また直線的な表現をうまく取り入れ、献之のもつ大膽なところを巧みに表現しています。

福島寿紀 七段
運腕が大きく、流麗である。特に筆先の扱いが見事で繊細さと大膽さが心地良い。形体も確かで安定している。

大場洋子 準七
大膽で構築性があり、強い感じのする臨書です。渴筆部も立体感があり、作品を明るくしています。修練の深さを感じます。

川部武郎 六段
「意先筆後」を心得ており、運筆に迷いがなく、大きな運腕から導かれる大膽さと線の明るさが、作品を際立たせています。

岩崎六雄 五段
落筆高い起筆からの運筆が見事で、堂々たる臨書です。貴君の姿勢の良さ、運腕の大きさを大切にしてください。やや転折が強すぎることに注意しよう。

豊吉咲冷佳 二級
下位の級ながら、手首を返しての運筆がスムーズで柔らかく、達者な方である。また温かみのある立体的な線が魅力的です。